

【事業モデル】 令和5年度「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業 の流れ

令和5年4月17日現在

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) 必ず取り組む内容 (7) 幼保小連携協議会の設置及び定期的な協議会の開催 (イ) 幼保小合同研修会の開催 (ウ) 教育、保育内容の相互参観、相互理解に関する取組 (エ) 小学校における一人一人の子供の育ちや学びをつなぐ取組の推進・支援 (オ) 架け橋期のカリキュラムの実施・改善 (カ) 地域の実情に応じた取組 ※回数、時期、規模等は、地域の実情に合わせて設定する。	【メンバー】 私立保育連盟代表 公立保育所・認定こども園代表 私立幼稚園協会代表 公立幼稚園長会長 広島大学附属三原小学校園代表 小学校・生活科部会長	三原市幼保小連携協議会 (第1回) 4月14日 ○本事業の趣旨及び組織体制について ○年間計画について ○役員決定 ○幼保小連携の状況・課題・方向性		【役割】 ○関係園・所・学校への伝達・普及 ○関係園・所・学校の進捗状況を把握・情報収集 ○カリキュラム開発会議に参加可能 (年2回) ○アンケート (国)		幼保小接続担当者研修 (年3回) 6月14日 (保育参観)・8月21日・2月2日 保育参観・全体研修会 (講師招聘) 等 幼保小接続研修 オンデマンド研修 (5月) (8月*調整中)			【メンバー】 幼保小連携担当教員	三原市幼保小連携協議会 (第2回) 2月6日 ○今年度の取組状況について ○来年度に向けて		
	保育内容の参観、相互理解に関する取組 保育内容の参観・相互理解 6月14日 保育参観・協議 (全体) (本郷幼稚園) 保育参観、子供の姿、協議内容をカリキュラムに反映し改善 各代表者会等で幼保小連携・接続・推進状況・来年度の方向性について協議 (1月) 入学説明会 (体験入学)											
(エ) の取組内容 A 園・所から送付される指導要録等の活用 *関係する園・所、学校で連携 B 小学校教員による園・所への複数回訪問 *校区内の同じ園・所へ2回以上	入学児童の指導要録の確認	入学児童の指導要録等や入学後の姿をもとに情報交流	個別の教育支援計画や個別の指導計画と入学後の姿をもとに情報交流		校長、園、所長による保育参観の日程調整		小学校による保育参観・事後交流 (7月~1月) *校区内の同じ園・所に2回以上			卒園児の指導要録送付		
(カ) の取組例	地域の実情に応じた取組 (就学前施設の職員と小学校の教員が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、めざす子供像を共有し、架け橋期のカリキュラムの見直し、改善を行っていくことを通して、つながりを意識した幼保小連携・接続の充実を図る)											
○県教育委員会が主催する幼保小接続に関する研修 (実施時期は予定)	*R5 三原市実施なし 年間を通じて幼児教育長期派遣研修	・初任者研修 (園・所における「就業体験」事前指導 [小学校])	・特別支援教育に係る研修 (幼・保・小)	・幼保小連携担当教員研修会 (小学校)	・広島県乳幼児教育・保育研究協議会 (幼・保・小)	・教育センター専門研修講座 (幼・保・小)	初任者研修 (園・所における「就業体験」 [小学校])			・初任者研修 (園・所における「就業体験」事後指導 [小学校])		
○架け橋期のカリキュラム開発会議等 (対象：指定市町の幼保小連携協議会メンバー)	事業説明会 *カリキュラム開発会議に含まれない	5月16日 (火) 午後 *行政 個別ヒアリング (オンライン)		【メンバー】 連携協議会メンバー参加可能	10月5日 (木) 午後 カリキュラム開発会議 (中間報告会) *行政 (参加) 連携協議会メンバー (参加可能)		実地調査 (国)、アンケート (国) 個別ヒアリング (オンライン)・調査			2月22日 (木) 終日 カリキュラム開発会議 (最終報告会) 最終報告会 *行政 [参加] 連携協議会メンバー (参加可能)		
○県教委への提出物 (支出を証する書類の写しを添付して、完了した日から起算して20日を経過した日又は令和6年2月29日のいずれか早い日までに) (事務局) (1) 事業実施報告書 (別紙3) 及び幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業収支決算書 (別紙4-1, 4-2) (2) 成果物 【成果物】 □幼保小接続カリキュラムの好事例, □幼保小連携協議会・幼保小合同研修会の資料, □園・所と小学校の連携のために用いた協議シートや保育 (授業) 参観シートの様式, □園・所や小学校、保護者、地域等との情報共有のための資料 (園・所、小学校における通信、保護者啓発資料等)												
【実地調査内容】 県内で3施設 ★3施設に訪問 ・公立幼稚園・こども園 ・公立小学校 ・私立幼稚園・保育所・こども園										【アンケート内容】 ★再委託市町対象 ・自治体担当者 ・園・所の施設長と5歳児担任 ・小学校長と1年生担任 ・幼保小連携協議会メンバー		

今年度の重点

- ・架け橋期のカリキュラム (アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム) についての改善。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに幼児教育・保育と小学校教育の相互理解・実践の深化。